

(仕上がり完成人形)



「黄色い手袋のめいすいくん」 手作り制作図

守山市明るい選挙推進協議会が考案した、黄色い手袋を材料に作る、めいすいくん人形が好評です。守山市明推協のご協力により、制作方法をご紹介します。

この人形づくりの良さは、手作りで啓発グッズを作成できること、ひとが集まる場、機会を作れること、そして楽しみながらできることです。協会でも作りましたが、わいわい賑やかでした。また、この制作方法ですと、めいすいくんに限定せずいろいろな人形を作ることができると思います。

みなさん、ぜひ挑戦してみてください。

作業手順 ①

- 一 手袋をすっかり裏返す。
 - 二 手首部分の細いゴムひもを抜き取る。
- 注** 細いゴムひもは丁寧に抜き取り、最後の太いゴムは残します。



作業手順

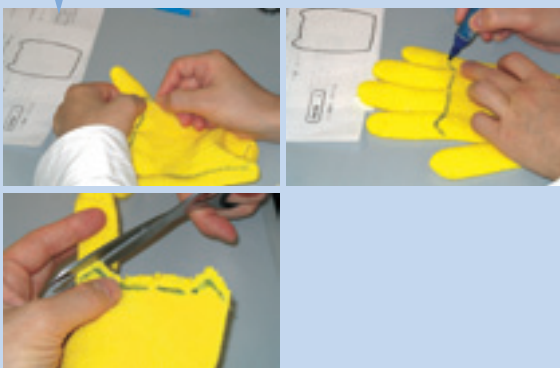
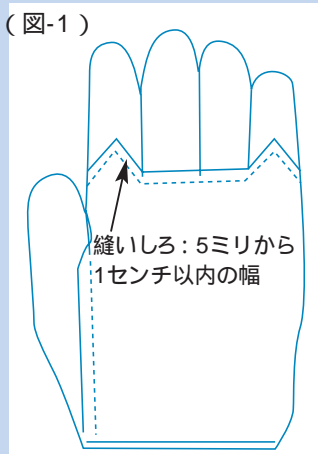
- 一 チャコペラで(図-1)のように線描きをして、黄色の糸(二本取り)で細かく半返し縫いをする。

- 二 縫いしろ分を五ミリ以上一センチ以内の幅で残して、五本の指を切り離す。

注 (図-1)の点線部は半返し縫いの箇所。太い線は切り離し箇所。

注 作業手順で残した太いゴムを切らないように注意。

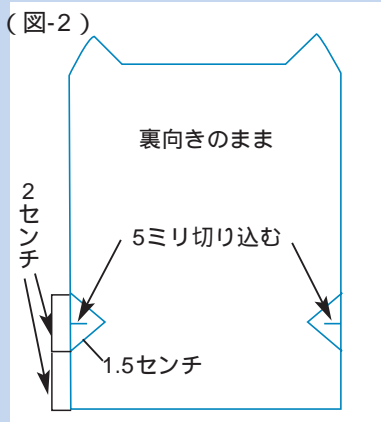
(図-1)



作業手順

- 一 手袋の両脇、それぞれ下から二センチ上がったところから(図-2)のように縫い込みを入れる。(半返し縫いをする)

注 縫い込む前に、中心部(下から三センチのところ)を五ミリほど切り込みます。



作業手順

- 一 手袋をひっくり返して(表に返して)手芸わたを形よく詰め込む。

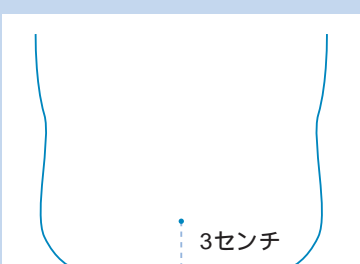
注 ここで体の形が決まるので、慎重にわたを入れます。



作業手順

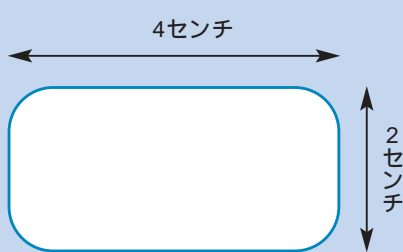
- 一 股割りをつくる。胴体の中央部、下から三センチ上がったところに針を出して、底の中央部を通して最初のところに針を出して引っ張る。

注 この作業を二回繰り返して、しっかり留めます。



作業手順

- 一 足底部をつくる。幅一センチ、長さ四センチのフェルトの楕円形を一枚つくり、これを両の足底に縫い付ける。



材料・用意するもの(一足あたり)

- ・黄色い手袋 市販のもの 二つかみ
- ・手芸用のわた 二つかみ
- ・木綿糸(黄色) 番手#三〇番のもの 二個
- ・めだま用の丸ボタン 黒色直径一〇ミリ 二個
- ・フェルト 黒色幅八ミリ長さ四・四センチ 一枚
- ・フェルト 赤色五ミリ角のもの 一枚
- ・フェルト 黒色幅三ミリ長さ五・五センチ 一枚
- ・フェルト 黄色幅二センチ長さ四センチ 一枚
- ・画用紙 図の大きさ 一枚
- ・土台板 一枚
- ・竹くし 一枚
- ・縫い針 チャコペラ はさみ 一本
- ・接着用ボンド(木工用)

作業手順

手をつくる

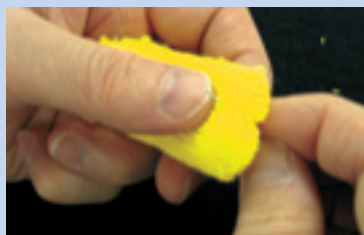
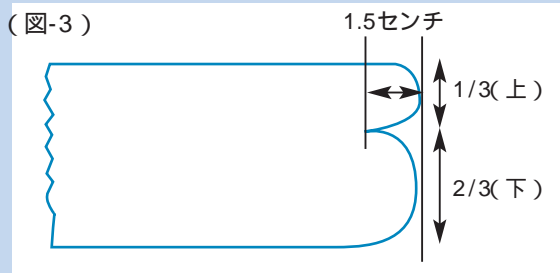
一 最初に切り離れた指の部分（人差し・中・くすりから二本）にわたを入れる。

注 わたを入れすぎないように気をつけます。

一 少しのふくらみが出る程度にします。

二 指先の部分に（図-3）のように黄色い糸で引っばって手の形をつくる。

三 この手をそれぞれ両脇中央部の後ろ側約三センチのところから前へ回す形で本体に縫い付ける。

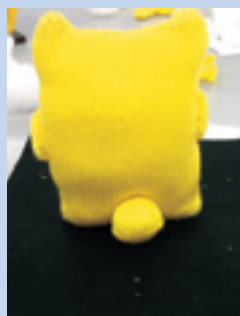
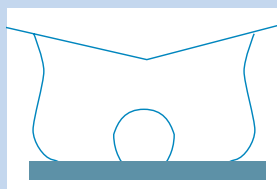


作業手順

尻尾をつくる

一 切り離れた親指にわたを詰め込んで丸くダンゴ状にする（グチ縫いをして）。

二 これを人形本体の後ろの股のところに縫い付けて、これで人形が安定して立つようになる。



作業手順

顔の表情をつくる

あたま…幅八ミリ長さ二ミリの黒フェルトを二本は…五ミリ角の赤フェルトを逆三角に切る。

くち…幅三ミリ長さ

五・五センチの

黒フェルト一本

めだま…あらかじめ用意した黒のボタン

二個

これらを仕上がり写真を参考にしながらボンドで接着する。

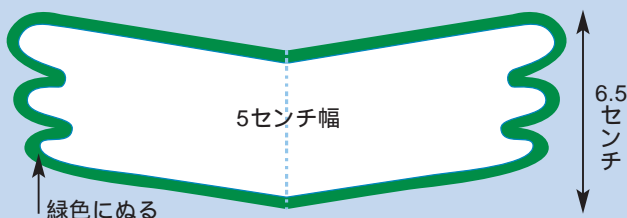
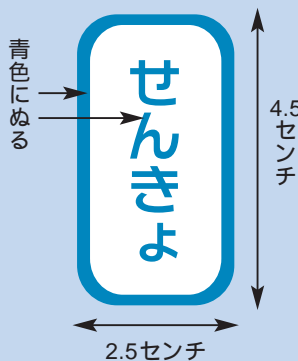


作業手順

羽と胸ワッペン、旗をつくる

羽とワッペンを背中と胸に貼り付ける。

最後に土台板にボンドで接着して立たせ、「明るい選挙」の旗を持たせる。



たて11.5センチ、よこ3.5センチ
さおは竹ぐし